

Q15 無気力だったり，集団行動が苦手だったりする子どもや，友達とのかかわりをもちたがらない子どもには，どう対応したらよいでしょうか

子どもの状態

友達と遊べず，いつも一人で行動することが多い。
行事など一斉の活動でいつも遅れてしまう。
授業中ぼんやりしていることが多く，意欲が感じられない。
苦手意識が強く，できそうにないと思うと全く取り組みまない。

状態の理解のポイント

- ・ 周囲や自分の状況を把握したり，今後の活動を見通したりすることが難しい。
- ・ 遊びのルールや日常の決まりを習得していない。
- ・ 学習の内容が分からない。
- ・ 自分に自信がもてない。

考えられる対応

直接的な友達とのかかわりの前に，物を介したかかわりを増やすようにする。

- ・ 一緒に絵本を見て，内容について話し合う。
- ・ 係活動として，協力して金魚などの世話をする。

集団の活動が難しい場面を把握し，手だてを考える。

- ・ 指示を分かりやすくする。(図116)
- ・ 状況を分かりやすくする。
- ・ 活動を易しいものから難しいものへ。

グループ編成等では，面倒見のよい子などを介して，友達とのかかわりがもてるようにする。(図117)

集団での活動は，いきなり大きな集団ではなく，少人数から始めるようにする。

指示的な言葉掛けや禁止の言葉掛けが多くならないようにする。

全体の場で本人のよさを認め，伝えるようにし，本人の自信につながるようにする。

個別指導，TTの活用，個に応じた課題など，学習のつまずきへの対応を考える。(図118)

家庭でも家に友だちを呼んだり，スポーツ少年団など異年齢集団活動に参加したりする。



図116 簡潔な指示



図117 友達の誘導



図118 TTの活用